

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

SEPTEMBER 2023

92

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

第130期
(2024年3月期)
第1四半期
決算情報

証券コード：7966



いしづちさん

石鎚山（1,982m、愛媛県）

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという想いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 トピックス

5 2023年度 新聞広告シリーズ

6 決算情報

8 セグメント情報

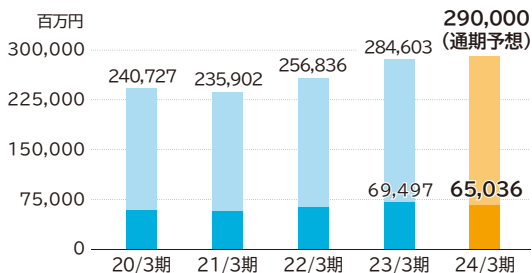
11 株式情報

（免責事項）

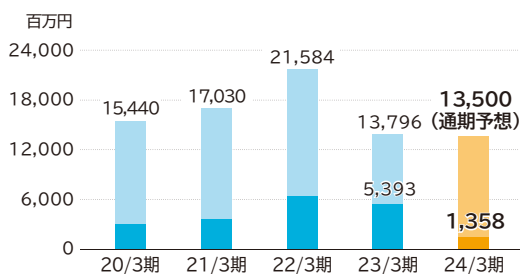
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

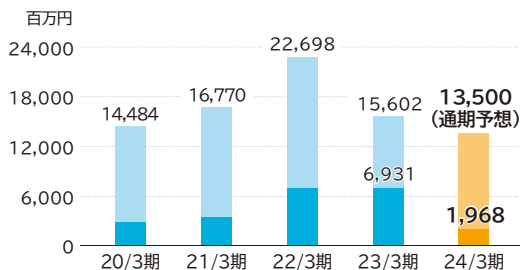
売上高



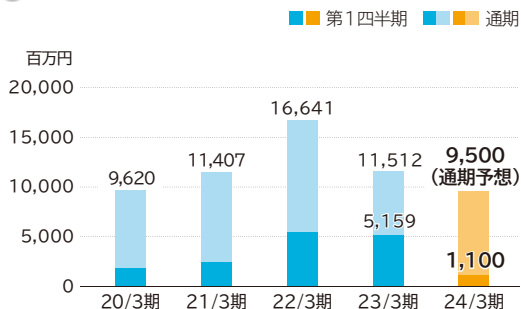
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



▶ 2024年3月期第1四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

65,036百万円 (6.4%減)

営業利益

1,358百万円 (74.8%減)

経常利益

1,968百万円 (71.6%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

1,100百万円 (78.7%減)



はっとり まこと
代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2024年3月期第1四半期連結累計期間の業績につきましては、価格改定や円安による押し上げ効果があったものの、原燃料価格や物流費のさらなる上昇に加えて、電子・光学関連製品が市場低迷の影響を大きく受けたことにより販売数量が大幅に減少し、他の製品についても国内や米国において受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加するなどした結果、減収減益となりました。

今後につきましては、原燃料調達コストの高止まりやエレクトロニクス関連市場の回復の遅れなど、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況が続くと予想されます。引き続き徹底的なコスト削減や

収益性の向上、価格改定に取り組んでいくほか、次期3か年中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」(2024年4月~2027年3月)のスタートに向けて、成長事業の生産能力増強や研究開発力強化のための積極的な投資、事業ポートフォリオの最適化の検討など、さらなる飛躍を目指し、さまざまな施策を講じてまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

▶ 2024年3月期 連結業績予想(前期比)

売上高	2,900億円 (1.9%増)
営業利益	135億円 (2.1%減)
経常利益	135億円 (13.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	95億円 (17.5%減)

カナダのシール・ラベル用粘着製品の裁断加工・販売事業を買収

今年5月、当社子会社のマックタック・カナダ社が、シール・ラベル用粘着製品の裁断加工と販売を手がけるラベルサプライ社(カナダ・オンタリオ州)の事業並びに関連資産を約70億円で買収しました。これによりカナダ市場での販売拡大に加え、シール・ラベル用粘着製品の製造子会社であるマックタック・アメリカ社の生産量増加や原価低減といったグループ内での相乗効果が見込まれます。今後も、安定成長が期待される北米市場での拡販と収益性の向上を図っていきます。



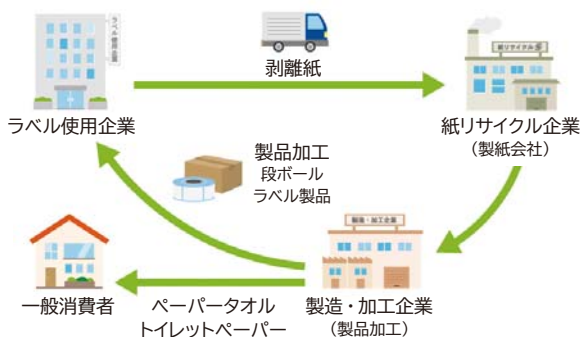
買収事業および関連資産の概要

事業内容: シール・ラベル用粘着製品などの加工・販売
 純資産: 455百万円(2022年2月末)
 総資産: 1,984百万円(2022年2月末)
 売上高: 6,315百万円(2022年2月期)
 当期純利益: 439百万円(2022年2月期)

使用済み剥離紙のリサイクル促進に向け、ラベル循環協会に参画

当社はシール・ラベル用粘着製品の粘着剤面を保護する剥離紙^{ジュエール}の回収・リサイクル体制の構築に向け、関連企業と共にラベル循環協会(J-ECOL*)を設立し、これに参画しました。国内で年間約11万トン発生する使用済み剥離紙は製紙原料として利用可能な資源でありながら、体制面や技術面などの問題からこれまで有効活用されてきませんでした。「J-ECOL」は使用済み剥離紙の回収システムと再生処理技術の構築・確立に取り組み、再生資源化を目指していきます。

循環リサイクルモデル構想



*J-ECOL: Japan Earth Conscious Labeling Associationの略。2022年6月から(株)サトー、王子タック(株)、大阪シーリング印刷(株)、リンテック(株)の4社が中心となって設立準備を進め、今年5月に一般社団法人として設立

十二人一首

日本古来の百人一首をモチーフに、持続可能な社会の実現に向けて当社が生み出している製品などを紹介する新聞広告シリーズです。和歌風のキャッチコピーをあしらった絵札のビジュアルで1年間にわたって月替わりで展開します。

【主な掲載紙】

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞

文月

7月掲載広告

リンテックは日射熱を遮ることで、冷房効率を向上させる自動車用ウィンドーフィルムを展開しています。プライバシーを保護する濃色タイプや、採光性を保ちながら熱をカットする高透明タイプをラインアップ。車内の温度上昇を抑制して省エネに貢献するこの1枚が快適なドライブを支えます。

夏の陽は
防ぎにけりな
この一枚
わが身にふるとも
涼しき車に



車の窓に貼って日射熱を遮り
冷房効率を高める省エネフィルム
リンテック株式会社

リンテック流 十二人一首

葉月

8月掲載広告

コンビニで販売されている揚げ物などの包装用途で多くの採用実績があるリンテックの耐油耐水紙。近年、環境面に配慮してプラスチック製のお弁当容器を紙製に切り替えるニーズもあり、厚物タイプの提案を強化しています。水や油が染み出しにくい機能性の高さを脱ブラを促進する1枚です。

これやこの
水も油も
染みにくく
食にもエコにも
合ふこの一枚



お弁当容器などの脱ブラを促進する
水や油が染みにくい耐油耐水紙
リンテック株式会社

リンテック流 十二人一首

長月

9月掲載広告

建物の窓に貼ることで台風や地震でガラスが割れた場合でも、破片の飛散を低減できる防災対策フィルム。リンテックはガラスの飛散状況を調べる実験を重ね、同フィルムのJIS規格制定にも携わるなど、性能の向上に長年努めてきました。安心につながるこの1枚に、これまでのノウハウが詰まっています。

わが庵の
窓に貼られし
この一枚
此を防災と
人はいふなり



台風や地震で窓ガラスが割れても
飛散を低減する防災対策フィルム
リンテック株式会社

リンテック流 十二人一首

右記のウェブサイトにて、製品の詳細や和歌の解説などを御覧いただけます。

DREAM FACTORY
www.lintec.co.jp/dream/ad/



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	177,042	171,936
固定資産	132,961	132,945
① 資産合計	310,004	304,881
流動負債	59,439	59,823
固定負債	24,081	17,906
② 負債合計	83,520	77,730
③ 純資産合計	226,484	227,150
負債純資産合計	310,004	304,881

四半期連結損益計算書及び
四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
④ 売上高	65,036	69,497
売上総利益	13,544	17,062
販売費及び 一般管理費	12,186	11,668
⑤ 営業利益	1,358	5,393
経常利益	1,968	6,931
税金等調整前 四半期純利益	1,968	6,931
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,100	5,159
四半期包括利益	2,056	10,700

■ ポイント！

- ① 資産合計

「流動資産その他」の減少などがありましたが、「現金及び預金」の増加などにより、総資産は51億22百万円増加しました。
- ② 負債合計

「支払手形及び買掛金」や「流動負債その他」の減少などがありましたが、「長期借入金」や「短期借入金」の増加などにより、負債は57億89百万円増加しました。
- ③ 純資産合計

円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などがありましたが、「利益剰余金」の減少などにより、純資産は6億66百万円減少しました。
- ④ 売上高

価格改定や円安による押し上げ効果がありましたが、電子・光学関連製品が市場低迷の影響を大きく受けたことなどにより、売上高は44億61百万円減少しました。
- ⑤ 営業利益

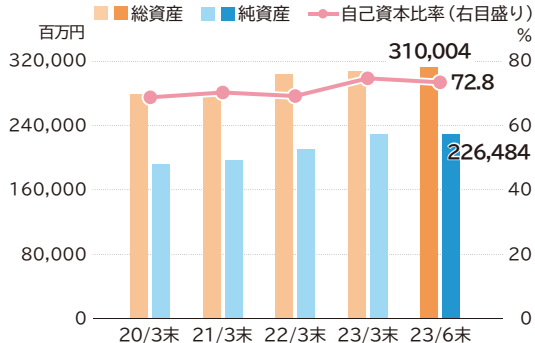
売上高の減少があったほか、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は40億35百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する
四半期純利益

営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億59百万円減少しました。

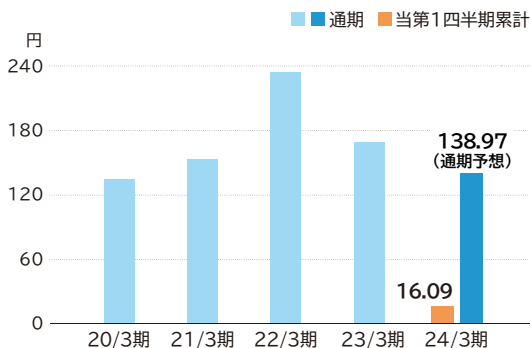
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	5,451	460
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,449	△2,830
財務活動による キャッシュ・フロー	7,759	△7,218
現金及び現金同等物の 四半期末残高	42,210	42,453

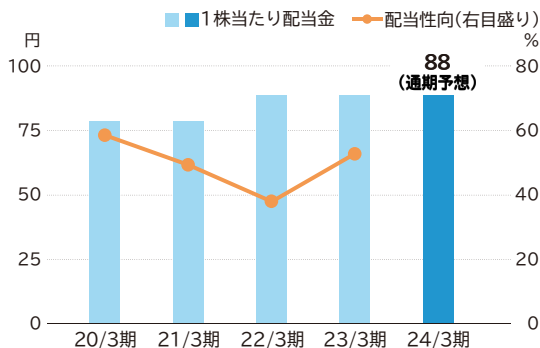
総資産・純資産・自己資本比率



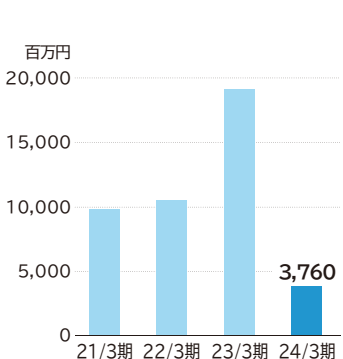
1株当たり四半期(当期)純利益



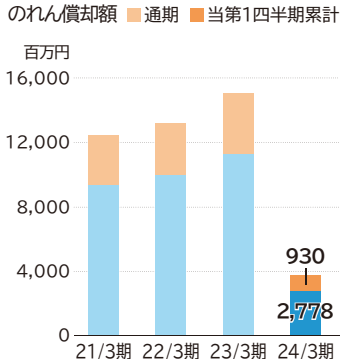
1株当たり配当金・配当性向



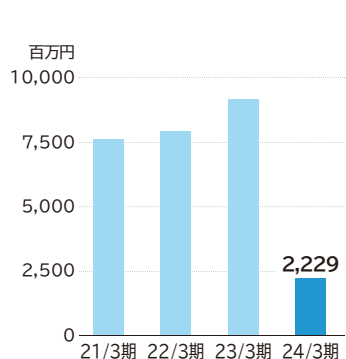
設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

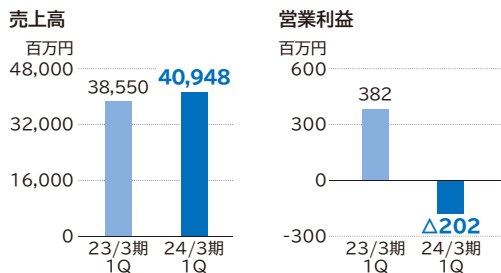


セグメント情報 2024年3月期第1四半期連結累計期間

印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **409億48百万円** (6.2%増)

営業利益 **△2億2百万円** (－)



印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **325億39百万円** (4.5%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **84億9百万円** (13.3%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

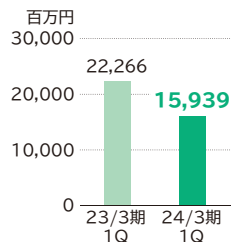
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調だったものの、食品や飲料キャンペーン用などの需要が減少し、総じて低調に推移しました。海外では米国や中国、アセアン地域において販売数量が減少しましたが、円安効果により売上高は増加しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用粘着製品や通販向け装置が堅調に推移しました。海外では米国やインド、アセアン地域において自動車用ウィンドーフィルムや自動車用粘着製品が堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流費が前期に引き続き上昇したことに加え、米国での販売数量が大幅に減少したことなどにより、営業損失となりました。

電子・光学関連 (前年同期比)

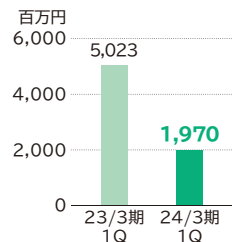
売上高 **159億39**百万円 (28.4%減)

営業利益 **19億70**百万円 (60.8%減)

売上高



営業利益

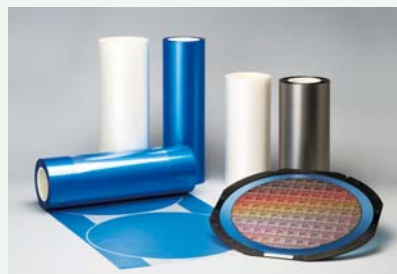


アドバンストマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **128億32**百万円 (22.1%減)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **31億7**百万円 (46.4%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



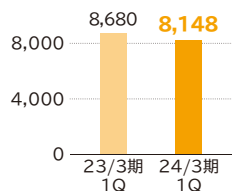
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、スマートフォンやパソコン用などの需要減少の影響を大きく受けて低調に推移しました。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン用などの中小型向けとともに需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益は受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加したこともあり、前年同期に比べ減少しました。

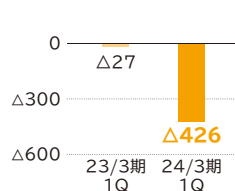
洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **81億48**百万円 (6.1%減)営業利益 **△4億26**百万円 (－)

売上高

百万円
12,000

営業利益

百万円
300

洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **40億86**百万円 (1.2%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **40億61**百万円 (12.5%減)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は工業用特殊紙が低調だったものの、主力のカラー封筒用紙や学童向けの色画用紙は堅調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙が堅調だったものの、一般粘着製品用剥離紙や合成皮革用工程紙、炭素繊維複合材料用工程紙、光学関連製品用剥離フィルムは需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格や物流費の上昇などの影響を受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2023年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,391,205株
単元株式数	100株
株主数	8,570人

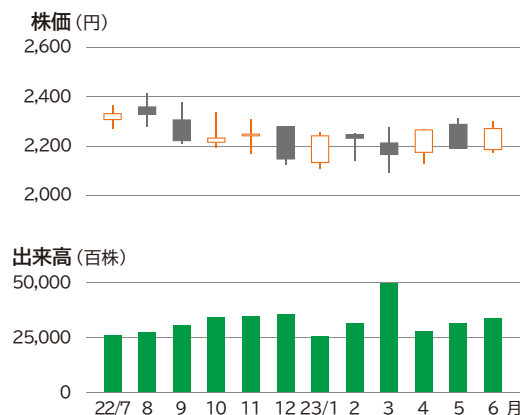
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,712	9.81
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,398	6.43
全国共済農業協同組合連合会	2,142	3.13
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,238	1.81
塩飽 恵以子	1,043	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	993	1.45
塩飽 一誉子	803	1.17
庄司 早木子	797	1.16
庄司 光江	797	1.16

注1. 当社は自己株式8,297,535株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2022年7月~2023年6月)



IRメール配信サービスのお知らせ

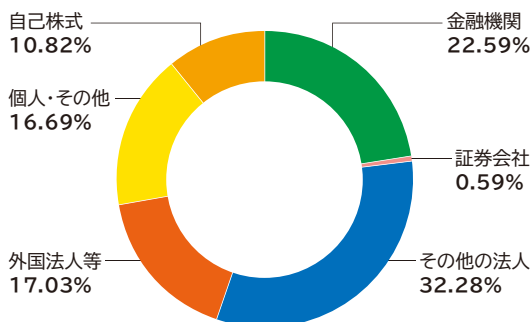
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

所有者別分布比率



会社概要 (2023年6月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,418人 単体: 2,620人 (2023年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻 (群馬県)、熊谷・伊奈 (埼玉県)、千葉 (千葉県)、 龍野・新宮 (兵庫県)、小松島 (徳島県)、三島・土居 (愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま (埼玉県) 海外事務所: ハノイ (ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufig.jp/daikou
住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申し出先 について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に 伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2023年9月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

UD FONT ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。